

日本光学会第 159 回幹事会議事録

日 時：平成 12 (2000) 年 1 月 14 日 (金)

13:30~17:30

場 所：機械振興会館地下 3 階研修 1 号室

出席者：山口幹事長，以下 37 名 (次期幹事を含む)

議 事：

幹事会の開会に先立ち，幹事長からの年頭の挨拶と各幹事の自己紹介が行われた。

1. 前回幹事会議事録に関する質問事項

3. (6) の Optics Japan 2000 の開催日を 10 月 9 日~11 日から 10 月 7 日~9 日に訂正。その他については，承認された。

2. 報告事項

2-1. 平成 12 年度幹事選挙結果

投票の結果が報告され，幹事会から推薦した幹事候補全員の当選が報告された。

2-2. 編集委員会報告

(1) 「光学」編集委員会報告

- ・各号の発刊は順調。編集委員の勧誘活動の効果で投稿論文が増加しつつある。
- ・カラーページの年間実績は 5 ページで，予算化の効果が出て順調に伸びている。
- ・タイムリーな話題に対応する記事を特集とは別に割り込み的に掲載することを検討している。
- ・2002 年に日本光学会が 50 周年を迎えるので，記念特集を企画している。

(2) 「OR」編集委員会報告

- ・'99 年の年間実績について報告が行われた。出版総ページ数は 542 ページで，各号平均 90 ページ。掲載論文数は 99 件で前年に対し増加している。月平均 8 件で，目標にしている月平均 10 件に近づいている。内容的にもバランスが取れてきている。会員の投稿率が 76% で，会員の投稿割合が高く，特に大学関係の投稿が多い。海外からの投稿は 8 件で，若干減少した。
- ・過去 5 年間の実績と推移について報告が行われた。「OR」はレビューペーパーの掲載を多くしている。これについては，今後も継続していく。掲載拒否は少なくしている。掲載論文数は，国際会議等の特集論文を除くと増加傾向である。
- ・編集委員長および出版委員長の交代が報告された。今年度をもって朝倉編集委員長が退任。来年度から，編集委

員長に一岡出版委員長が，出版委員長に山口幹事長が就任する。

2-3. 講演会関連報告

(1) カラーフォーラム '99 結果報告

1999 年 11 月 9 日~11 日に工学院大学で開催されたカラーフォーラム '99 について，講演数および講演内容，参加者数，中間決算が報告された。

カラーフォーラムは，日本写真学会，日本光学会，照明学会，日本色彩学会の 4 学会が持ち回りで幹事を担当している。本年度は日本写真学会が幹事を担当した。来年度 (2000 年度) は日本光学会が幹事を担当するので，実行委員長と実行委員の選出が必要になる。

(2) Optics Japan '99 事業報告

- ・開催結果，委員会組織，収支会計，申し送り事項について報告が行われた。
- ・参加者数約 480 名であった。事前登録受付を行ったことで準備金が入り運営が楽になった。
- ・クレジットカードによる支払いの導入により，受付業務が簡素化した。
- ・応物との分離開催について，会員からの意見等が紹介され，分離開催と連続開催について意見が交わされた。2000 年度は応物が 5 日間開催になり，連続開催はもはや参加者の負担を考えると無理。むしろ，開催場所等の選定に配慮が必要。
- ・申し送り事項を含め，講演の進め方，ナイトセッション等について議論された。OJ 2000 では，今回の成功を取り入れて発展させていく。

(3) 平成 11 年度関西講演会結果報告

今回，関西の枠を広げて徳島で開催。参加人数は 45 名，地元以外からの参加は 20 名で大阪近郊からであった。

(4) 平成 11 年度名古屋講演会結果報告

参加者数，講演数および概要，会計について報告された。

(5) 冬期講習会進捗報告

- ・平尾一之氏から三露常男氏 (平尾プロジェクト) に講師が変更されることが報告された。
- ・現在の事前登録は 67 名 (うち一般会員 35 名，学生 22 名) で，今年は例年より多い。ポスター，「光学」への折り込み，HP の効果が出ている。

(6) 第 33 回光学五学会関西支部連合講演会

- ・開催日，開催場所，テーマ，予定演題，参加費について

報告が行われた。

- この講演会は、日本光学会、照明学会関西支部、日本色彩学会関西支部、日本分光学会関西支部、日本写真学会西部支部の5つが持ち回りで幹事を担当し、例年1月から2月に開催している。前回は7月開催になったため、今回その準備期間が取れないことから5月開催になった。
- 2000年の開催は日本光学会が担当になっている。講演会開催まで引き続き北川幹事が実行委員を担当する。

#### (7) 第25回光学シンポジウム進捗報告

- 昨年11月26日に第1回実行委員会を開催した。開催要項について説明が行われた。
- 募集要項を作成し、「光学」をはじめ関連学会誌・協会誌への掲載を依頼した。
- 講演募集のポスターが完成し、各幹事にポスター掲示による広報活動が依頼された。
- 1月28日に第2回実行委員会を開催し、展示、投稿のお願い、Web、ポスター等について打ち合わせを行う。

#### (8) 第25回光学シンポジウム予算案

- ポスター、講演者数の増加に伴い、全体で若干の増額になる。
- 平成13年3月31日をもって、六本木の東大生研が閉鎖される。これに伴い、光学シンポジウム等の会場を変更することになる。代わる会場についての情報の提供を望む。

#### (9) 第34回サマーセミナー進捗報告

- 1月7日に第1回実行委員会を開催した。開催日を8月24日～26日に、開催場所を前回と同じ上智大学軽井沢セミナーハウスに決定した。ほかの候補地と比較検討をした結果、参加費(宿泊費)を低く設定できるので軽井沢に決定した。テーマについては20世紀最後の年に相応しい内容を検討中。参加費等については再度検討する。参加費の区分は、応物会員は学生会員も含め会員扱いとする。広報活動については、まず参加費未定で会合通知を「光学」「応物」の各誌に掲載する。HPへの掲載も検討していく。
- 2月中に第2回実行委員会を開催し、テーマ、講師候補を決定する予定。
- 以上の開催日と開催場所が承認された。

#### (10) Optics Japan 2000 進捗報告

- 開催日時、開催場所、講演内容が報告された。今回新たな試みとして、光以外の分野の人および学生を対象に光学スクールを計画している。検討課題として、学生発表者、光学スクールの講師、実行委員の旅費の補助等が示された。

- プログラム委員および実行委員のリストが示された。現地実行委員会をすでに3回開催。

- 今回示されたOJ99の報告書を申し送り事項として実行委員会に送付し、参考にする。

- 1月28日にプログラム委員会を開催する。結果を各研究グループに示し、参加の申し入れがあったグループにはプログラム編集に参加してもらう。

#### 2-4. その他の報告

##### (1) 光学論文賞審査結果報告

- 応募件数7件から、以下の2名が平成11年度第41回光学論文賞を受けることになった。

市村 厚一氏：(株)東芝研究開発センター

小野寺理文氏：職業能力開発総合大学校電子工学科

- 春の応物で、授賞式と記念講演を行う。
- 論文賞の応募件数をもっと増やすために、各幹事に推薦の勧誘活動の要請があった。

##### (2) 名簿作成進捗報告

- 最終ゲラが完成、ゲラを回覧し各幹事にチェックしてもらった。当初予定していなかった広告を掲載することになり、広告掲載の作業のために送付が3月末になる。

##### (3) 物理系学術誌刊行協会設立について

- 協会設立の背景および外部状況、協会の業務分掌等が説明された。将来的に「OR」を協会から刊行することになる。協会への参画の是非等について議論が行われた。

##### (4) その他

- 会員動静
- 協賛  
平成11年度色彩基礎セミナー(日本色彩学会関西支部)に協賛する。

#### 3. 審議事項

##### 3-1. 次期幹事長選出。

- 山口幹事長の3月末の任期満了に伴い、次期幹事長の選出を行った。幹事長から岩田耕一(大阪府大)将来問題担当幹事が次期幹事長候補に推薦され、次年度まで任期を残す出席幹事による投票が行われ、開票の結果、同幹事の当選が決定した。

##### 3-2. 平成12年度活動計画(案)

- 平成11年度事業報告および平成12年度事業計画(案)が示され、承認された。

##### 3-3. 光学論文賞の規定改正について

- 光学論文賞規定第3項について、変更案が提案され、審議された。修正案を次回幹事会に提出し、審議することになった。

##### 3-4. 物理系学術誌刊行協会への参加について

さきに説明された物理系学術誌刊行協会への参加について審議された。「OR」のスタンスの取り方、参画時期、定款案への意見等が議論された。4月の設立段階から協会に参画していくことが承認された。

### 3-5. その他

- 日本光学会幹事会資料室設置について  
委託業務、資料室設置計画案が提示された。応物との関係などが議論され、慎重に検討していく。
- 平成12年度幹事会構成(案)  
平成12年度の幹事会の構成と分担が提案され、承認を受けた。
- 第2回国際会議開催の準備について  
ICOSN '99に続く日本光学会が主催する第2回国際会議の準備開始について、次回(3月)の幹事会までに検討委員会を開催することが提案された。WGの構成は、幹事長、次期幹事長、国際協力担当幹事、および若干名とする。WGの設置について承認された。
- ICO ニュースレターを「光学」に綴じ込むことの要請があり、承認された。

次回幹事会は、3月10日(金) 13:30～ 機械振興会館

### 平成11年度第3回常任幹事会

2000年3月10日(金)に機械振興会館において開催されました。「光学」「OR」の各編集委員会報告、光学シンポジウム、サマーセミナー、Optics Japan 2000等の講演会関連報告および審議、名簿作成進捗状況等の報告がなされました。また日本光学会奨励賞選考委員案、総会提出資料として事業計画案、会計報告案、予算案等について審議がなされました。詳しい議事録は次号に掲載予定です。

### 平成12年度総会

平成12年度総会は2000年3月29日(水)に青山学院大学青山キャンパスにおいて開催されました。まず山口一郎幹事長より幹事長挨拶が行われ、日本光学会とSPIEの初の共催国際会議ICOSN '99の成功と2001年6月に第2回を計画していること、物理系学術誌刊行協会への参加と電子化出版への対応の状況、平成3年以来となる会員名簿の刊行および4月1日からの日本光学会資料室(九段下)の開設について報告されました。また、岩田耕一新幹事長の紹介がありました。続いて吉川浩庶務幹事より平成11年度事業報告および平成12年度事業計画、埜田友也会計幹事より平成11年度決算報告および平成12年度予算案が提出され、すべて承認されました。平成12年度決算は昨年度に引き続き黒字(約1500万円)となることが報告さ

れました。

総会に先立ち平成11年度光学論文賞授賞式が行われ、市村厚一氏(東芝研究開発センター)ならびに小野寺理文氏(職業能力開発総合大学校)が受賞されました。総会終了後、市村氏と小野寺氏による光学論文賞受賞記念講演が行われました。

なお、日本光学会の平成11年度事業および平成12年度の計画などに関する情報は、第7号に掲載予定の「日本光学会平成11年度年次報告」の中に詳細が掲載されますので、ご覧ください。

### 日本光学会奨励賞選考委員

平成11年度第3回常任幹事会において日本光学会奨励賞選考委員案が提出され、下記のように決定しました。

委員長	大坪順次	(静岡大学)
副委員長	一岡芳樹	(大阪大学)
委員	石井行弘	(職業能力開発大学)
	黒田和男	(東京大学生産技術研究所)
	國分泰雄	(横浜国立大学)
	小松進一	(早稲田大学)
	塩入 諭	(千葉大学)

### 平成11年度第6回「光学」編集委員会

2000年3月8日(水)九段会館において新旧編集委員合同で開催されました。第29巻第10号～第29巻第11号企画、第29巻第12号～第30巻第3号構想案について審議が行われました。また、特集外解説記事、査読票改訂、新講義シリーズ、日本光学会創立50周年記念号について審議がなされました。そのほか、論文投稿・審査状況、各号の進捗状況、会計等について報告がなされました。

### 臨時「光学」編集委員会

2000年3月30日(木)に第47回応用物理学関係連合講演会の会場(青山学院大学青山キャンパス)において開催されました。通常の編集委員会で十分に議論の時間の取れなかった原著論文採否基準と査読プロセス、査読票改訂、各号編集担当者決定から発刊までのスケジュール見直し、50周年特集号企画などについて討議を行いました。そのほかにも、「光学」の内容のホームページへの掲載などについても議論しました。

### Optics Japan 2000 in 北見

日本光学会(応用物理学会)は、年次学術講演会としてOptics Japanを10月7日(土)、8日(日)、北見工業大学

において開催します。詳細については本誌綴じ込み案内、またはホームページ (<http://infmdl.cs.kitami-it.ac.jp/oj2000/>) をご覧ください。

### 日本光学会第 34 回サマーセミナー

毎年、参加者の方々から好評をいただいておりますサマーセミナーを、本年は以下のように開催する予定です。20 世紀に光技術がどのように発展し、間近に迫る 21 世紀にどのような方向に進んでいくか、皆さんとともに考え、議論できるプログラムにしたいと考えています。プログラム、参加費、および申込み方法は本欄にて追ってお知らせします。

期 日： 2000 年 8 月 24 日 (木)～26 日 (土)

場 所： 上智大学軽井沢セミナーハウス

問合せ先： NTT フォトニクス研究所 天野 主税

電話 046-240-3260 Fax 046-240-3259

E-mail: chikara@aecl.ntt.co.jp

### ODF2000: 2nd International Conference on Optical Design and Fabrication

日本光学会光設計研究グループと SPIE Japan Chapter は 2000 年 11 月 15 日～17 日の期間、光学設計・製造に関する国際会議 ODF 2000 を早稲田大学において開催します。詳細については本誌第 28 巻第 12 号の日本光学会 news またはホームページ (<http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/osj-ap/kenkyu-g/r-gn.html#RG7>) をご覧ください。

### 光設計研究グループ第 21 回研究会

テーマ： デジタル機器を支える光学系

日 時： 2000 年 5 月 25 日 (木) 10:30～17:30

場 所： 東京大学生産技術研究所第 1 会議室 (東京都港区六本木 7-22-1)

交 通： 地下鉄千代田線乃木坂駅徒歩 4 分、または地下鉄日比谷線六本木駅徒歩 7 分

プログラム：

1. レーザー走査光学系の発展  
佐久間伸夫 (リコー)
2. レーザービームプリンター用反射型走査光学系  
飯塚隆之 (旭光学)
3. デジタルカメラレンズシステムの開発  
芝山敦史 (ニコン)
4. 分割撮像方式デジタルカメラにおけるシェーディング補正  
山中睦裕 (ミノルタ)

5. DMD 素子のプロジェクションディスプレイ応用

梶山敏之 (日本 TI)

6. 液晶プロジェクター光学系

坂本幹雄 (NEC)

7. DVD/CD 互換レンズの最近の進展

斉藤真一郎, 山崎敬之 (コニカ)

8. 液晶の光ディスクへの応用

大滝 賢 (パイオニア)

主 催： 日本光学会 (応用物理学会) 光設計研究グループ

参加費： 光設計研究グループ会員 4,000 円, 光設計研究グループ学生会員 無料, 一般 10,000 円, 学生一般 2,000 円

定 員： 150 名 (定員になり次第締め切ります)

参加申込： 氏名, 所属, 連絡先 (住所, 電話, Fax, E-mail), 参加費の区分を, 下記申込先に Fax, E-mail または郵送でお送りください。

申込先： オリンプス光学工業 (株) ARC 第 3 研究室

久芳 (くば) 圭一

〒192-8512 東京都八王子市久保山町 2-3

電話 0426-91-7126 Fax 0426-91-5709

E-mail: k\_kuba@ot.olympus.co.jp

問合せ先： (株)リコー画像技術開発本部 OE 開発室

鈴木清三

電話 03-5742-5722 Fax 03-3777-8178

E-mail: seizoh.suzuki@nts.ricoh.co.jp

### 近接場光学研究グループ第 9 回研究討論会

主 催： 日本光学会 (応用物理学会) 近接場光学研究グループ

日 時： 平成 12 年 6 月 30 日 (金) 9:30 より (終了後懇親会予定)

場 所： 浜松市研修交流センター (JR 浜松駅下車, 徒歩 8 分)

講演討論内容： 一般講演, ショート講演, 招待講演を予定。優れた講演には「近接場光学賞」贈呈。

参加費： 日本光学会員 2,000 円, 学生 500 円, その他 5,000 円

講演申込締切： 平成 12 年 5 月 12 日 (金)

申込先および問合せ先：

(株)浜松フォトニクス中央研究所 瀧口義浩

〒434-8601 静岡県浜北市平口 5000

電話 053-586-7111 Fax 053-586-6180

E-mail: takiguti@crl.hpk.co.jp

## 第 76 回微小光学研究会

テーマ：「デジタル画像と微小光学」

日時：2000年7月4日(火) 10:00~17:10

場所：東京大学生産技術研究所3階第1会議室(東京都港区六本木7-22-1 電話 03-3402-6231)

交通：地下鉄千代田線乃木坂駅下車徒歩3分、または地下鉄日比谷線六本木駅下車徒歩8分

主催：日本光学会(応用物理学会)微小光学研究グループ

プログラム：

1) [特別講演] CCD 撮像素子とイメージング—その歴史と展望—

越智成之, 奈良義郎(ソニー)

2) デジタルスチルカメラのための新構造 CCD の開発  
田丸雅也(富士写真フイルム)

3) CMOS イメージセンサとその応用  
山下浩史(東芝セミコンダクター社)

4) CMD イメージセンサ  
野本哲夫(オリンパス)

5) 多波長赤外線イメージセンサ  
正田昌宏(ニコン)

6) イメージシフトによるベイヤー配列 CCD の高画質化方法  
山田栄二(シャープ)

7) 信号処理による原色形単板カラーカメラの偽色抑圧  
小沢直樹(ピーテック)

8) 偽解像を起こしにくい CCD  
本庄 知(本庄研究室)

9) 層内レンズ構造の3次元波動光学シミュレーション  
武藤秀樹(リンク・リサーチ)

10) スマートピクセルとデジタル画像処理  
津田裕之(慶應義塾大), 黒川隆志(東京農工大)

11) ネットワークにおけるハイパー D CCD の可能性  
山田隆博(松下電器)

12) 天体撮影用超高感度ハイビジョンカラーイメージインテンシファイアーカメラ  
馬嶋圭三(NHK 技術局)

参加費：一般 4,000 円, 学生 1,000 円(資料代を含む)  
当日ご持参ください。

参加申込み：不要(直接会場にお越しください)

問合せ先：森 伸芳(コニカ)  
電話 0426-60-9315 Fax 0426-60-9325

E-mail: n.mori@konica.co.jp

プログラムは、微小光学研究グループのホームページ

(<http://www.din.or.jp/~microopt/>)でもご覧いただけます。

## 第 25 回光波センシング技術研究会

主催：光波センシング技術研究会

協賛：電気学会ほか8学協会

期日：2000年6月6日(火), 7日(水)

場所：東京大学山上会館(文京区本郷)

主題：「光ファイバ・光導波路センサ：実用化研究の最前線」を中心に、光応用センサー関連の一般/応募講演とで計25件ほどを予定。

招待講演：光ファイバセンサによる建設物の性能保証/三田彰(慶大), 光ファイバブリルアン歪分布センシングによる構造物のスマート化/成瀬央(NTT), 油井探査用光ファイバセンサ/山手勉(シュルンベルジェ), 電力ネットワークにおける光センシング技術の実用化/黒澤潔(東京電力), 光ファイバジャイロの航空・宇宙応用(仮題)/未定(三菱プレジジョン)ほかの招待と、一般講演の計25件を予定しています。

参加費：11,000 円, 学生 3,000 円

申込および問合せ先：光波センシング技術研究会事務局  
福井峯朗  
東京都新宿区下落合3-17-42(302室) 連企画気付  
電話・Fax 03-3391-9587  
E-mail: fukui@poem.ocn.ne.jp

## 計測自動制御学会関西支部平成12年度講習会

テーマ：システム制御のための組込みシステム技術

日時：平成12年6月9日(金) 9:50~16:30

会場：千里阪急ホテル樹林の間(豊中市新千里町2-1-D-1 電話 06-6877-2211)

主催：計測自動制御学会関西支部

問合せ先：計測自動制御学会関西支部講習会委員会

委員長 潮 俊光

大阪大学大学院基礎工学研究科システム科学分野

豊中市待兼山町1-3 電話 06-6850-6390

E-mail: ushio@sys.es.osaka-u.ac.jp

参加費：協賛学会員 10,000 円, 学生 3,000 円

定員：70名

## 「最新の表面形状計測技術」公開セミナー

期日：平成12年6月20日(火)

会場：機械振興会館6階67号室(東京都港区芝公園3-5-8)

主 催：(社)日本オプトメカトロニクス協会  
 問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会  
 東京都港区芝公園 3-5-22 機械振興会館別館  
 電話 03-3435-9321  
 定 員：63名

**理研シンポジウム「デジタル生産システム研究および形状情報ハンドリング技術研究」**

日 時：2000年6月8日(木) 9:30~17:00  
 場 所：理化学研究所鈴木梅太郎記念ホール(〒351-0198 和光市広沢2-1)  
 主 催：理化学研究所  
 概 要：  
 第1部 理研の素形材光学，光工学，工学基盤研究部によるデジタル生産システムの研究の最終年度の報告があります。生産のシミュレーション，非接触光測定技

術，およびデジタルデータを用いた評価技術についての研究成果が発表されます。

第2部 デジタル生産システムの現状の事例報告として，中央精機，IMS のプロジェクトである Digital Die Design System における主に自動車業界での取り組み，設計，解析，生産，測定の現状と問題点が紹介されます。

第3部 平成12年度から新たに開始された形状ハンドリング技術研究の概要について，形状の取り込み(デジタルイズ)，大量データの処理，データ精度補正手法，用途に応じた形状モデリング手法および評価手法などを扱う研究の紹介です。

参加費：無料  
 問合せ先：理化学研究所工学基盤研究部 加瀬 究  
 電話 048-462-1111 (内5862) Fax 048-462-4639  
 E-mail: kiwamu@riken.go.jp

日本光学会 *news* の掲載申込み先：  
 〒174-8639 東京都板橋区前野町2-36-9 旭光学工業(株)光学研究部第1研究室 米山修二  
 電話 03-3960-4664 Fax 03-5392-2013 E-mail: s.yoneyama@aoc.pentax.co.jp  
 なお，掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで，開催日が1~10日の場合は，開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日 本 光 学 会 平 成 12 年 度 幹 事 (\*常任幹事)

幹 事 長：	岩田 耕一* (大阪府立大)	
副幹事長：	松本 弘一* (計量研)	
庶務幹事：	佐藤 裕志* (コニカ)	大谷 幸利* (農工大)
	埜田 友也* (ニコン)	門野 博史* (埼玉大)
	石渡 裕* (オリンパス)	小野寺理文* (能開大)
	中野 隆志* (融合研)	米山 修二* (旭光学)
	伊藤 治彦* (東工大)	
『光学』編集幹事：	大坪 順次* (静岡大)	堀 裕和 (山梨大)
	尾松 孝茂 (千葉大)	中川 清 (神戸大)
『OPTICAL REVIEW』編集・出版幹事：	一岡 芳樹* (大阪大)	山口 一郎 (理研)
国際協力幹事：	芳野 俊彦 (群馬大)	高橋 信明 (防衛大)
将来問題担当幹事：	中楯 末三 (東京工芸大)	
前幹事長：	山口 一郎 (理研)	
企画・事業担当幹事：	亀丸 俊一 (北見工大)	坂田 肇 (キヤノン)
	山田 秀則 (富士ゼロックス)	本宮 佳典 (東芝)
	高梨 健一 (リコー)	天野 主税 (NTT)
	橋本 信幸 (シチズン時計)	岡井 誠 (日立)
	森 峰生 (通信・放送機構)	羽根 一博 (東北大)
	大高 真人 (福井大)	佐々木修己 (新潟大)
	藤原 巧 (豊田工大)	塩野 照弘 (松下電器)
	財部 健一 (岡山理科大)	森 邦彦 (鹿児島大)